

2021年12月2日
西日本旅客鉄道株式会社

JR西日本グループの組織横断的なデータ利活用推進の取組みが評価 「2021年度IT賞」においてIT奨励賞を受賞

西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR西日本」）は、このたび公益社団法人 企業情報化協会（以下、企業情報化協会）が主催する「2021年度IT賞」の「IT奨励賞（コラボレーション領域）」を受賞しました。

JR西日本グループデジタル戦略では「グループの持つ豊富で多彩なデータの利活用による新しい価値を創造」を掲げており、この度の受賞は、「JR西日本グループデータ利活用ポリシー」の策定や、「データガバナンス」といった組織横断的なデータ利活用推進の取組みが高く評価されたものです。

今回受賞したコラボレーション化領域は、ITによるオペレーションの標準化や情報の共有化、機能連携、ビジネスプラットフォームの構築などによって、従来からのバリューチェーンにおける取引や提携関係とは異なる（新しい）複数の業種・業態間の事業連携を実現する取組みに授与されるものです。

（参考URL：<https://www.jiit.or.jp/im/award.html>）



IT賞は、わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、企業情報化協会が授与するものです。昭和58年3月に設定した「OA賞」をもとに、平成13年度より「IT賞」に名称変更されています。

（参考URL：<http://www.jiit.or.jp/im/award.html>）

1. 受賞件名

「データガバナンスによるJR西日本グループのデータ利活用推進（利活用促進と安全性強化の両立）」

2. 受賞件名詳細

JR西日本グループではデータによる新しい価値の創造を「利活用促進」と「安全性強化」の両面から支援する「データガバナンス」によってグループ横断のデータ利活用を推進しています。具体的にはルールや体制等のソフト面、データ共有の基盤整備等のハード面の複合的な施策から構成されています。

今回ご案内の取組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8・9・17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

